

- 1 単元名 意見文を書こう～根拠の適切さを吟味して説得力を高める～
東京書籍2年 「地図」の意見文

2 単元の目標

- (1) 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕 (2) ア
- (2) 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 B (1) イ
- (3) 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 B (1) ウ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

3 本単元における言語活動

多様な考えをもてる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 B (2) ア)

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア	① 「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 B (1) イ ② 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 B (1) ウ	① 根拠を吟味したり構成を工夫したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、分かりやすく説得力のある意見文を書こうとしている。

5 単元について

(1) 教材観

本単元は、多様な考えをもてる事柄について根拠の適切さを吟味しながら意見文を書く活動を通して、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書くことができるようにすることをねらいとしている。意見文を書くにあたり、生徒が興味をもって学習に取り組むことができるよう、意見文の題材として、つくば市の道の駅の整備地を設定する。つくば市は、昨年12月の時点での候補地として、池田地区と上原・松野木地区を検討していると発表している。学区内にある池田地区が挙げられているため、生徒にとって生活に直結する、身近な話題である。「道の駅に自分が店を出店するならどちらの地区が良いか」と問いかけ、経営者としての立場に立たせることで、自分事として活動に取り組むことができるようになると思う。

(2) 生徒観

生徒は今年度6月から7月にかけて、つくば市の魅力について紹介文を書く活動に取り組んだ。紹介したいものの情報を本やパンフレット、インターネット等を用いて調べ、導入、本文、結びの3つに分けて構成し、表現を工夫しながら読み手に伝わるように文章を書いた。多くの生徒は、文章を3つに分けて構成し、表現を工夫することができていたが、調べた情報から選択し、段落相互の関係等、文章の繋がりを考えて紹介文を書くことができていた生徒は少なかった。

また、第8学年の生徒に「書くこと」に関するアンケート(令和7年7月、69人調べ)、を実施したところ「書くこと」が「得意」または「どちらかと言えば得意」であると答えた生徒は*%であった。「書くこと」が苦手と答えた生徒の多くは、考えを言葉にすることや文章の構成、文と文のつながりに難しさを感じていた。自分が選択した立場の理由を書くことが「できる」「どちらかと言えばできる」と答えた生徒は*%であったが、根拠の適切さを考えて書くことが「できる」「どちらかと言えばできる」と答えた生徒は*%に留まった。「書くこと」に対して、苦手意識がある生徒は少ないものの、紹介文を書く活動での成果物を見ると、相手に伝わる文章を書くことができていない生徒が多いという実態がある。

これらの現状を踏まえ、本単元では自分の意見が相手に伝わるよう、意見文を書く前に根拠が適切であるかを生徒同士で十分に吟味する活動を設定する。

(3) 指導観

本単元では、意見文を書く活動を言語活動として設定する。自分の立場と根拠を示すだけでは説得力のある意見文になるとは言い難い。説得力の高い意見文にするためには、文章の構成を考えるとことや根拠が適切であるかどうかを考えることが重要である。そのため、根拠の適切さについては、「根拠が確かな事実や事柄に基づいたものであるかどうか」、「その根拠から適切にその結論を導けるかどうか」の主に2つの観点から吟味する。

さらに、生徒自身が自分に合ったワークシートを選択したり、学習状況を振り返る時間を毎時間確保したりすることで生徒自身が「分かる、できる」を実感することができるよう学習を進めていきたい。また、本校で取り組んでいる「対話」を軸とした学びを展開し、他者の意見を多角的・批判的に捉えて助言をし合うことで、より説得力のある意見文を書くことができるようにしたい。

具体的には、第1次では、単元の学習の見通しをもつとともに、説得力のある意見とはどのようなものか考える活動を行う。第2次では、身近な話題に対して自分の意見を持ち、その意見を支える根拠の適切さを考える活動を行う。根拠の吟味を行うことで意見の説得力を高め、主張が相手に伝わる文章を書くことができるようにしたい。根拠の適切さを考える観点として「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」では、「根拠が確かな事実や事柄に基づいたものであること」、「考えが事実や事柄に対する適当な解釈から導き出されていること」の2点が挙げられている。そのため、意見に対する根拠を考える上での具体的な観点や資料を与え、シンキングツールを活用して思考が視覚化できるようにする。第3次では、第2次までに考えたことを基に、文章の構成を考えながら意見文を書き、読み合う活動を行う。文章を書くことが苦手な生徒が、考えを言葉にすることや文章の構成、文と文のつながりに難しさを感じている実態を踏まえ、生徒自身が自分に合ったワークシートを選択できるようにする。読み合い活動では、第2次で使用した根拠の適切さを判断するための観点に加え、文章の構成を互いに評価し合うことで生徒自身が文章を書くことができたという実感が得られるようにしたい。

6 単元の指導計画(6時間扱い)

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価及び評価方法等
1	1	学習課題 説得力のある意見とは、どのようなものだろうか。 ・単元全体の見通しをもつ。 ・論証の例を挙げ、その論証の説得力を吟味する活動を通して、説得力のある根拠とは何かを考え、共有する。 まとめ 説得力のある意見とは、根拠が正しく適切に導かれているものである。		○		思②：根拠の適切さを吟味することが困難な生徒には、取り組みやすい課題を提示し、一緒に考えるようにする。【ワークシート、観察】

2	2 3	学習課題 意見と根拠はどんな視点で考えるとよいだろうか。 ・例題について自分の意見とその根拠を考える活動を行う。 ・意見文の題材について検討し、自分の立場を設定する。 ・自分の意見を支える根拠を挙げる。 まとめ その土地の周辺の状況や交通、人口などについて考えるとよい。	○		知①：自分の意見と根拠の関係性が分かるようにクラゲチャートにまとめているかどうか見取り、困難な生徒には個別に助言したり、ペア活動を促したりする。 【クラゲチャート、観察】 ○ 態①：根拠を考えることが困難な生徒には、根拠を考えるための視点をいくつか示したり、資料やインターネットサイトを使って情報を集めたりするよう声かけを行う。 【観察】
4 本時	4	目標：自分の意見が伝わるように根拠の適切さを考えることができる 1 前時までの振り返りを行う。 ・以前学習した単元を振り返り、意見を述べるときの根拠の重要性について再確認する。 ・第1次第1時で考えた説得力のある意見の特徴について確認する。 2 学習課題を設定する。 学習課題 根拠の適切さを判断するためには、どうすればよいだろうか。 3 説得力のある根拠かどうかを吟味する。 ・吟味するための観点を示し、その観点を参考にしながら、前時までに各自で考えた根拠の適切さを4人グループで吟味する。 4 友達からのアドバイスを生かし、自分の意見を支える適切な根拠について考える。 5 学習のまとめと振り返りをする。 ・ロイロノートまたは振り返りシートで振り返りを記入する。 まとめ 根拠の適切さを判断するためには、「意見・根拠・理由付け」を捉え、その関係性が適切であるか、根拠が正しいものであるかという観点で確かめるとよい。 6 次時の活動を確認する。	◎		・第1次第1時の振り返りの中から一部を取り上げ、どのようなことを学んだのかを確認できるようにする。 思②：自分の意見が相手に伝わるよう、グループで対話をしながら根拠の適切さについて吟味している。 【ワークシート、観察】 ・吟味するための観点を示すだけでなく、説得力のある根拠かどうかを判断するためのチェックリストを使って考えることができるようにする。 ・適切な根拠を考えるために、「意見・根拠・理由付け」の関係を考えることができるよう、クラゲチャートや三角ロジックを使って整理するとよいと助言する。 ◎ 態①：友達からのアドバイスを生かし、自分の意見を支える適切な根拠について考えようとしている。 【ワークシート、振り返り、観察】

3	5 6	学習課題 説得力のある意見文にするためには、構成や表現をどのように工夫したらよいだろうか。 ・前時までに検討したことを基に、文章構成を考えて意見文を書く。 ・意見文をグループで読み合い、内容や構成の工夫の改善点を伝え合う。 まとめ 初めに意見を述べてから根拠を挙げるとよい。また、予想される反対意見とその反論について述べるとより説得力のある意見文になる。 ・単元全体の学習のまとめや振り返りを行う。 振り返り 説得力のある文章を書くためには、自分の立場を決め、その根拠の適切さを吟味したり、文章の構成を工夫することが大切である。	◎	◎	知①：意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【ワークシート、観察】 思①：自分の意見が相手に伝わるように文章の構成を工夫している。 【ワークシート、観察、振り返り】
---	--------	---	---	---	---